



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.249 2013.2.13

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は お気軽に **090-2156-3510**

「払いたくても払えない」「これ以上の負担は耐えられない」

国保料の値上げやめよ



花川区長に申し入れる日本共産党北区議員団

日本共産党 北区議員団 花川区長に申し入れ

日本共産党北区議員団は12日、北区の花川與惣太区長に対し、新年度にあたって国民健康保険料の値上げをおこなわないよう申し入れしました。

今年度は、国保料、後期高齢医療保険料、介護保険料がトリプル値上げとなり、区民から悲鳴があげられました。

とりわけ算定方式を「旧ただし書き方式」へと変更した国保料は、「払いたくても払えない」ほどの水準に、さらなる負担をかぶせるものとなりました。

今回の要請では、

- ① 2013年度の国民健康保険料の値上げをおこなわないこと、
- ② 「旧ただし書き方式」移行にともなう実施されてきた、保険料減額のための経過措置については打ち切ることなく継続し、さらに拡充すること、の2点を求めました。

これに対し、花川区長は「23区でも値上げを抑えるための手立てをさまざまに検討している。15日の区長会で示され

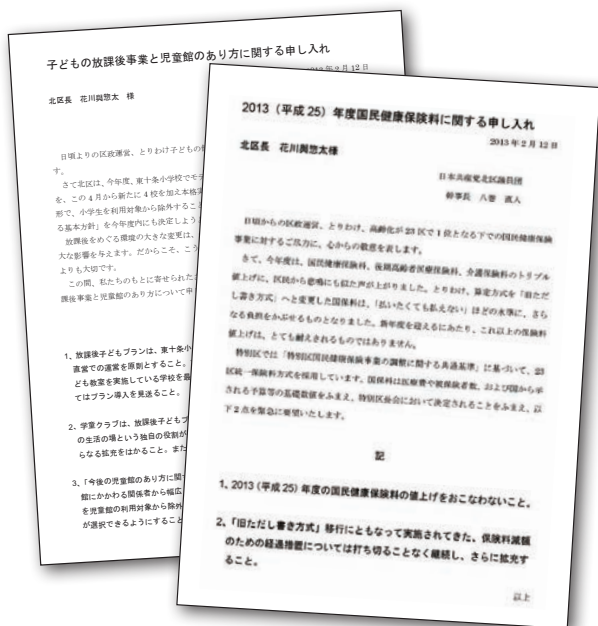
ば、すぐにお伝えすることに「なる」などのべました。

遊び場は子ども自身に選択を

区長への要請ではまた、子どもの放課後事業と児童館のあり方に関する申し入れも同時におこないました。

この4月から放課後子どもプランが本

格実施となり、学童クラブや児童館のあり方も大きく変更されることから、小学生を児童館の利用対象から除外する計画を撤回し、放課後の遊び場については、子ども自身が選択できるようにすることなどを求めました。区側は「よく検討したい」などと答えました。



日本共産党志茂・赤羽後援会 新春のつどい

政治変え、くらしを守ろう

日本共産党志茂・赤羽後援会は11日、赤羽会館大ホールで「新春のつどい」を開催。100人を超える後援会員や党支持者らが参加しました。

厳しい情勢の下での都議選

第1部では、まずはじめに私があいさつさせていただき、昨年末の総選挙では北区の比例得票で日本共産党は第6党であり、定数4で争う都議選で、そねはじめさんの議席を奪還するのは並大抵でないことを、リアルに訴えました。

続いて、そね前都議は、大型開発優先、福祉切り捨ての東京都政を大もとから変

え、都民の命とくらしを守る都政に転換させるためにがんばる決意を表明しました。

このあと、後援会の活動報告、今後の活動計画と、新たな役員体制が提案されました。

「時事落語」に

爆笑のウズ

第2部は乾杯で幕開け。歓談の後に、橘家扇三師匠が登場し、「時事落語」を披露しました。総選挙や政局をネタにした小噺に、会場は爆笑の渦でした。

続いて、木元良八前区議のギター伴



会場いっぱいの参加者にあいさつする、のの山区議

奏で、うたごえコーナード。「ふるさと」など懐かしい曲を全員で合唱しました。

憲法9条を変えて「国防軍」を標榜する右寄り内閣が登場するなど、世の中が暗い雰囲気になっていく中で、最後まで明るく、楽しく、希望に満ちた集会になりました。

(のの山けん)

都議選・参院選

日本共産党の躍進を

10日、日本共産党女性後援会の宣伝カーが北区内を駆けめぐりました。

赤羽のララガーデン入口では、そねはじめ前都議、吉良よし子党都雇用と就活対策室長、池内さおり衆院東京12区青年部長が、代わる代わるマイクを握り、都議選・参院選での日本共産党の躍進を訴えました。



ララガーデン入口で訴える(右から)そねはじめ、吉良よし子、池内さおりの各氏 =2月10日

あいさつする、そね前都議

